

群馬県西部におけるカワヒバリガイの分布について

群馬県立自然史博物館 杉山直人

1 カワヒバリガイ (*Limnoperna fortunei*) とその問題点

- 中国南部原産のイガイ科の淡水貝,西日本の河川に侵入し,その後東日本にも侵入.
- 足糸により殻を固定するため,大量発生すると水路や発電所等の取水口をつまらせる.
- 貯水池や水道施設内での大量死による水質の悪化が懸念される.
- 現在,特定外来生物に指定され,飼育や生きたままの移動等が禁止されている.
- 幼生が魚類の輸送水や釣具や調査用具に混入・付着し,移動先で繁殖する可能性がある.



2 群馬県での発見から現在までの経緯

- 1970年 国営鑛川用水として大塩貯水池,竹沼貯水池,国営幹線水路を整備.
- 2005年9月 大塩貯水池から流出する南2号幹線水路で大量発生を確認.
- 2006年2月 南2号幹線水路にて駆除作業を実施.
- 以後 定期的に除去作業を継続するとともに,幼生の数を抑制する方法を模索中.

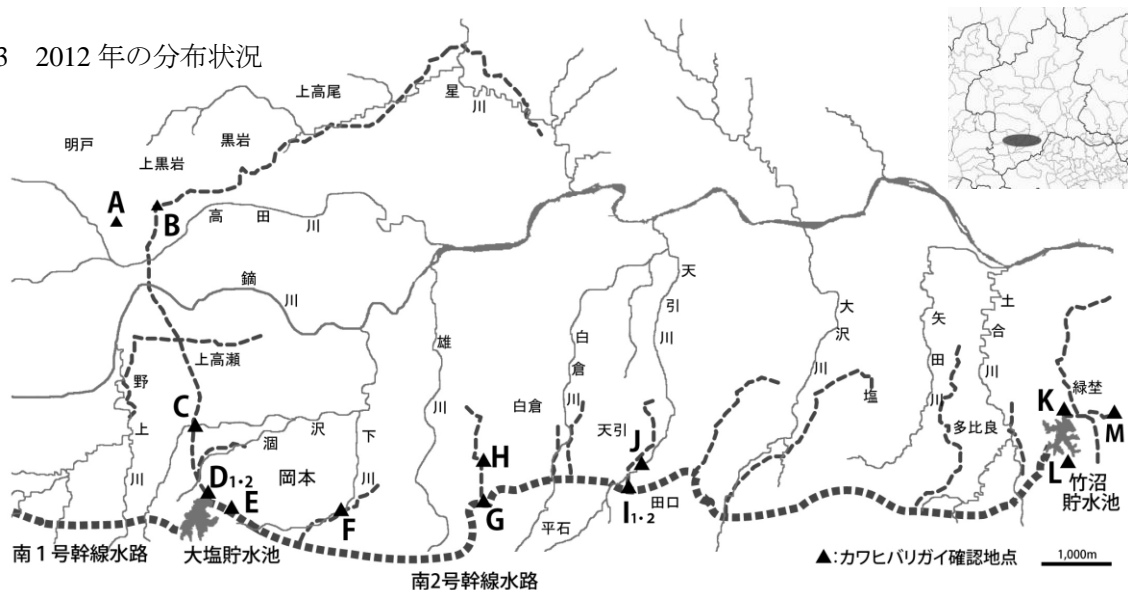


南2号幹線水路での駆除作業(2006年)



渇水期の大塩貯水池湖底(2008年2月)

3 2012年の分布状況



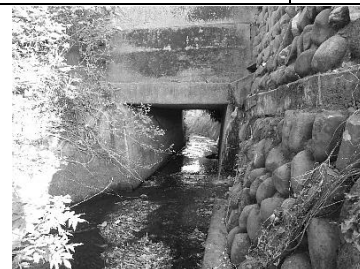
記号	生息確認地点		生息状況	方法
A	富岡市黒川	黒川ふれあい公園親水広場・支線水路	個別 まばらに見られる	採取
B	富岡市黒川	富岡北部幹線水路 空気抜き孔近辺	個別 少数個体がわずかな水で生存	採取
C	富岡市南後箇	涸沢支流	個別 希に見られる	採取
D1	富岡市南後箇	大塩貯水池 富岡北部幹線水路隧道	水路の側面・底面に密集 厚さ5cm程度のマット状	採取
D2	富岡市南後箇	大塩貯水池 湖岸	個別 希に見られる	採取
E	甘楽町日向	南2号幹線水路 隧道出口	水路の側面に密集	目視
F	甘楽町国峰	下川	個別 希に見られる	採取
G	甘楽町佐久間	南2号幹線水路	個別 まばらに見られる	採取
H	甘楽町上野	支線水路	足糸でつながった殻を確認	採取
I1	甘楽町田口	ため池 堰堤内側	個別 まばらに見られる	採取
I2	甘楽町田口	ため池 堰堤外の水路	密集 3cm程度のマット状 死貝多い	採取
J	甘楽町天引	天引川	個別 希に見られる	採取
K	藤岡市緑埜	竹沼北部 用水支線	個別 まばらに見られる	採取
L	藤岡市西平井	ため池 堰堤外の水路	個別 まばらに見られる	採取
M	藤岡市緑埜	平井小学校付近 用水支線	個別 希に見られる	採取



B 富岡市黒川 北部幹線水路



I2 甘楽町田口 ため池堰堤外



M 藤岡市緑埜 平井小学校付近

4 今後の課題

- ・鐮川用水は農業用水や上水道の水源として用いられており、長期間利用を止めることができない。完全な駆除が困難であるため、用水の水量や水質を維持するうえで、カワヒバリガイの生息数をコントロールしていく必要がある。
- ・カワヒバリガイの広範囲への拡大を阻止するため、定期的な見回り調査によりカワヒバリガイの動向をつかむ必要がある。

キーワード：カワヒバリガイ, 特定外来生物, 群馬県, 鐮川